

オアシス21

No. 105

令和6(2024)年
3月

福祉にいがた 第859号(6~12面)

CONTENTS

巻頭特集

ねんりんにいがた開幕へ

鳥取目指せ、県シニア選手(2・3面)

- シニアカレッジ令和6年度新入学生募集
- 新潟西区災害ボラセン被災地復旧へ全力
- 表紙絵4月号から久保田さん(聖籠)担当

絵
「北アルプス・穂高」

作家・永越 環(上越市)了



第29回「にいがたねんりんピック」

実施13競技一覧(予定)

種目	開催日	会場
テニス	5月3日(金)	新潟市庭球場
ソフトボール	5月11日(土)	ニュータウン運動公園ソフトボール場
バウンドテニス	5月12日(日)	堀之内体育館
ダンススポーツ	5月12日(日)	新潟市鳥屋野総合体育館
弓道	5月19日(日)	弥彦神社弓道場
ソフトテニス	5月19日(日)	五泉市粟島テニスコート
ゲートボール	5月29日(水) 5月30日(木)	両津野球場
ソフトバレーボール	5月予定	未定
卓球	6月2日(日)	燕市吉田総合体育館
ゴルフ	6月7日(金)	イーストヒルゴルフクラブ
ペタンク	6月予定	信濃川河川公園
太極拳	9月29日(日)	新潟市西総合スポーツセンター
剣道	10月6日(日)	五泉市総合会館中ホール

※表は2月20日現在です。日程はさまざまな事情で変更される場合もあります。

パワー満開にいがたねんりん

5月から 順次「全国」へ13種目熱戦

10月19日、鳥取県で開幕する第36回「全国健康福祉祭とっとり大会」(ねんりんピック はばたけ鳥取 2024)への出場を目指す新潟県選手団の選考を兼ね、第29回「にいがたねんりんピック」(主催・新潟県社会福祉協議会、共催・新潟県、新潟市など)が5月から種目ごとに県内各地で開かれます。

ねんりんピック鳥取

10月19日に開会式 19市町村で29種目

「いざー! 鳥取!」。咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」をテーマに第36回「全国健康福祉祭とっとり大会」(ねんりんピック はばたけ鳥取2024)が

10月19日(土)、鳥取県鳥取市の県立布勢総合運動公園陸上競技場で総合開会式を行い開幕します。同じ日本海側という地の利を引き寄せ、新潟県選手団の活躍が期待されます。

大会は総合開会式の翌20日から計29種目が県内全19市町村で熱戦を展開、22日午後閉会します。

スポーツ交流大会は「卓球」「テニス」「ソフトテニス」「ソフトボール」「ゲートボール」「ペタンク」「ゴルフ」「マラソン」「弓道」「剣道」の10種目です。

ふれあいスポーツ交流大会は13種目で「太極拳」「ソフトバレーボール」「バウンドテニス」「ダンススポーツ」などです。「囲碁」「健康マージャン」など、文化交流大会は6種目です。

昨秋のねんりんピック愛媛大会で新潟県選手団は堂々の熱戦を展開、全国の仲間と交流しました。



第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024 咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花 令和6年10月19日(土)〜22日(火)

ボク
あおや
かみじろう

ボクが「ねんりんピック鳥取」のマスコットだよ。漢字では青谷上寺朗と書くよ。推定1800歳の弥生人なんだ。鳥取の自慢の一つ、国史跡指定の「青谷上寺遺跡」が由来だよ。遺跡は「地下の弥生博物館」と呼ばれるほど、出土品がたくさんあるよ。人骨から顔の復元が試みられ「そっくりさん」コンテストも開かれたんだよ。

プレー強く鮮やか 友情も育み

昨年10月28日から愛媛県内の全20市町村で熱戦が繰り広げられた「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」に出場した新潟県選手団。遠い伊予の国で堂々の熱戦を繰り広げ拍手を集めました。県選手団が繰

り出した鋭いサーブ、相手に食い込む竹刀、ボールを打ち返すバット、優雅な演舞、アップテンポの舞…。熟練、そして熟年の技を随所で展開した15種目の熱戦の跡を写真で紹介します。



▲ゲートボール



▲卓球



▲グラウンドゴルフ



▲ダンススポーツ



▲剣道



▲ゴルフ



▲ソフトテニス



▲ソフトバレーボール



▲マラソン



▲ソフトボール



▲テニス



▲バウンドテニス



▲バドミントン



▲弓道



▲太極拳

6年度入学 新入生募集

6月開講 多彩な14講義 新潟・長岡・上越 計200人

シニアの学びの場「シニアカレッジ新潟」(石上和男学長)は令和6年度の新入学生を募集しています。新潟と長岡、上越の3会場で開催されます。6月の開講の前に、県社会福祉協議会内のシニアカレッジ新潟事務局は「豊かな人生にするためにも新たな学びを」と受講を呼び掛けています。

シニアカレッジ新潟はさ

まざまな分野で第一線に立つエキスパートたちが講師を務めています。

1年次にはシニア世代に関心の高い計14講義を用意



講義ひとこま



「運動による健康づくり」



「救急救命の基礎」



「自然災害と自助・共助力」



「障がい者たちの『働く』」



「生きがい探しと地域づくり」

広く深く学んだ分かった

しました。

健康問題や法律、社会福祉、地域づくり、交通事故防止など多彩な構成となっており、受講すれば興味や関心の幅を広げ、さまざまに生かせそうです。

例えば、講義「いまニイガタで世界遺産を考える」は「佐渡島の金山」が世界文化遺産登録へ向け正念場を迎えているだけにタイム

リーな内容となっております、新潟の佐渡金山について改めて学び直せます。

簡単なエクササイズを学べる健康づくり系の講義は長寿高齢化と健康ブームを反映して人気です。

また、講義「豊かな人間関係を築くコミュニケーション術」は伝わる話し方や気持ちを受け止める聞き方のコツを学べ、新たな仲間づくりに役立ちそうです。

さらに、講義「西洋音楽の魅力」は講師が鍵盤楽器を演奏するユニークな趣向です。

また、世界中が関心を寄せる「地球温暖化」に関し

た講義もあります。

ともに学ぶ新しい仲間との出会いや、自主的なサークル活動も可能で、卒業後も続く仲間づくりの場が皆さんを待っています。

シニアカレッジ新潟は平成元年度からの新潟県高齢者大学が前身です。幅広い知識を身に付け、仲間をつくり、地域活動の担い手を養成することを目的に開設しています。令和5年度に開講35年を数え、地域に送り出した卒業生は9800人超となっております。

募集人員や開講時期など「募集要項」については5ページをご覧ください。



講義ひとこま

※省略した講義名もあります。

令和6年度シニアカレッジ新潟 1年次 募集要項

I 募集人員、会場

※入学資格 一県内在住の概ね 60 歳以上で、社会参加意欲のある人

- 基礎応用課程（2年間） 3会場合計 200人
 - ・新潟会場（募集2クラス各60人）…… 新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所）
 - ・長岡会場（募集50人）…… アトリウム長岡（長岡市弓町）
 - ・上越会場（募集30人）…… 高陽荘（上越市西城町）

II 開講期間

1年次 6～10月
 ※新潟会場は9月まで

- ・講義日数 計12日間
- ・講義時間 基本13:00～16:00（2日間は10:00～16:00）

III 募集期間 3月15日から4月15日

IV 受講料 ○基礎応用課程…年額8,000円

V 1年次の講義名一覧

講義一覧
豊かな人間関係を築くコミュニケーション術
高齢者が知っておきたい法律
地球温暖化と私たちの暮らし
西洋音楽の魅力
交通事故防止と特殊詐欺被害防止対策
いまニガタで世界遺産を考える
薬と健康
運動による健康づくり
救命救急の基礎
社会・人のつながりと健康寿命
社会福祉の基礎
介護の基本と認知症
自己表現と関係づくり
生きがい探しと地域づくり

左表「講義」の順番は右表の日程順とは一致しません

VI 講義日程

	新潟A	新潟B	長岡	上越
第1回	6月11日(火)	6月12日(水)	6月6日(木)	6月7日(金)
第2回	6月18日(火)	6月19日(水)	6月13日(木)	6月21日(金)
第3回	7月2日(火)	7月3日(水)	★7月4日(木)	7月5日(金)
第4回	★7月9日(火)	★7月10日(水)	7月18日(木)	★7月19日(金)
第5回	7月23日(火)	7月24日(水)	7月25日(木)	7月26日(金)
第6回	7月30日(火)	7月31日(水)	8月8日(木)	8月9日(金)
第7回	8月6日(火)	8月7日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
第8回	8月20日(火)	8月21日(水)	8月29日(木)	8月30日(金)
第9回	8月27日(火)	8月28日(水)	9月19日(木)	9月13日(金)
第10回	9月4日(水)		★9月26日(木)	★9月20日(金)
第11回	★9月17日(火)	★9月11日(水)	10月10日(木)	10月4日(金)
第12回	9月24日(火)	9月25日(水)	10月24日(木)	10月18日(金)

★印の日は午前10時～午後4時

VII 入学案内・申込用紙

「シニアカレッジ新潟」のHP（右の二次元コードから）で申込書を3月15日に公開。ネットから申し込みできます。



ホームページは



入学案内や申込用紙をご希望の方は84円切手を貼付した返信用封筒（長型3号12×23・5cm）に、ご自分の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記「問い合わせ先」にご請求ください。

VIII 問い合わせ先

シニアカレッジ新潟事務局（新潟県社会福祉協議会 地域福祉課内）
 〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階 ☎025-285-1400

このたび、島津印刷はまちごと美術館と提携し、アートレンタル事業をスタートいたしました。

「障がい者アートレンタル」で新潟の共生社会づくりをはじめませんか？

まちごと美術館cotocotoとは、障がいがある人の作品レンタルを通して、社会・人と人との関係をつ結び、新潟の街が色とりどりの感性に溢れるように、じっくりコトコトと深めていこうとする取り組みです。

■まちごと美術館cotocotoの仕組み

所属作家さん → まちごと美術館cotocoto → 企業

企業 → 所属作家さん (via SDGs)

まちごと美術館cotocoto → 企業 (via アートレンタル)

企業 → まちごと美術館cotocoto (via レンタル料)

まちごと美術館cotocoto → 所属作家さん (via レンタル料金の一部をアーティストに還元します。)

所属作家さん → まちごと美術館cotocoto (via 謝礼金)

まちごと美術館cotocoto → 所属作家さん (via 福祉施設で創造されるアートをレンタル。)

お気軽にお問い合わせください

まちごと美術館cotocoto パートナー企業
島津印刷株式会社
 ネットプロモーション事業部
 (担当: 石井・園井)
 TEL. 0254-27-2101

詳しくはこちらから!

五泉の鈴木さん

視覚障がい者のテノール歌手 3月16日に新潟音文 ソロコンサート再び

視覚障がい者の合唱団などで長年活動するテノール歌手、鈴木洋さん（五泉市村松）が3月16日午後2時から新潟市音楽文化会館（新潟市中央区）の練習室13で「鈴木洋テノールコンサートⅡ」を開きます。

鈴木さんは、生まれながら目が不自由で「光を少し感じる程度」です。県立盲学校高等部時代に歌う楽しさに触れ、鍼灸・マッサージ師として働いた東京から帰郷後、地元で視覚障がい者の男声合唱団「どんぐり」結成に参画。以降、40年以

上歌い続けています。現在も仕事の傍ら合唱団活動を続け、歌のレッスンも欠かしません。

令和3年11月に田上町で初のソロコンサートを開催、好評を博しました。

2度目の今回はイタリア大衆歌曲「フニクリ・フニクラ」を原語でも歌うほか、童謡「この道」や竹内まりやさんの「いのちの歌」自身で作詞作曲した「ひまわりの街へ」などを透明感のあるテノールの歌声で披露します。さらに自身の新曲「虫と鳥たちの音楽会」も披露する予定です。

入場のための参加協力券は一般が800円、小中学生や障がい者、ガイドヘルパーが500円です。問い合わせは鈴木洋さん、090（7725）2227。



コンサートのチラシ

「オアシス21」「福祉にいがた」へ ご意見感想、情報をお寄せください

◆TEL 025 (281) 5613
◆FAX 025 (281) 5528
◆Eメール kikaku@fukushiniigata.or.jp

◆新潟県社会福祉協議会企画広報課
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

お待ちしております
◆

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン		
	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)	初日から補償
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料	350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)

メディアアシップ慈善企画実行委

子ども食堂支援

県共募へ50万円

新潟日報メディアアシップ（MS、新潟市中央区）1階で昨年12月25日までの約1カ月間「希望のシンボルツリー」展示や子ども食堂



メディアアシップコミュニケーション会の阿部正喜会長（左）と佐藤明・県共募会長

支援のグッズ販売や募金などのチャリティ企画が実施されました。この企画の実行委員会を代表して、MSのテナントでつくるMSコミュニケーション会が企画の収益や募金に企業からの協賛金を加え、計50万円を新潟県共同募金会に寄付しました。



メディアアシップに設置され、子ども食堂への寄付を呼び掛けた募金箱

この贈呈式が2月1日、MSで行われ、MSコミュニケーション会の阿部正喜会長が「子どもは地域の宝であり、子ども食堂に役立ててほしい」とあいさつ。佐藤明・県共募会長は「皆様様の思いを受

け子ども食堂支援に使わせていただく」と感謝しました。県共募ではこの寄付とN

HK歳末たすけあいによる寄付金を原資に、子ども食堂へ助成します。

認定NPO
長岡「UNE(ウネ)」

「新テーマ型」活用 中山間地で送迎事業

長岡市栃尾地区で地域活性化に取り組み認定特定非営利活動法人「UNE」(家老洋代表理事)から、ありがとうメッセーシジが届きました。ご紹介します。



長岡市の中山間地で実施された送迎事業

「にいがた・新テーマ型

募金助成事業」により令和4年度に「送迎サービス事業」を実施しました。

◆◆
主な内容は地域の障害者や高齢者の通院、スーパーでの買い物、農園芸作業などの送迎です。このほか、障害者らの就労支援活動に参加するボランティアも送迎しました。

◆◆
1年間の送迎延べ回数は747回で、送迎延べ人数は1804人でした。大変好評で「時間通りに家の前まで送迎してもらい助かる」「車の中でお話できて楽しい」「孤立しないで済む」などと、利用者からうれしい言葉を頂きました。

◆◆
栃尾などの中山間地域では路線バスの廃止や減便が相次いでいます。生活用品

能登半島地震
義援金募集中

県共同募金会

【振り込み先】

▽第四北越銀行白山支店
普1590791

▽大光銀行新潟支店
普3043002

以上の口座名は「福新
潟県共同募金会」

▽ゆうちょ銀行
00130101515

716 □座名「新潟県共
募能登半島地震災害義援金」

各店の本店支店の窓口に
は手数料無料です。

の店も無くなり、金融機関や郵便局も縮小、医療機関閉鎖も増え、車なしでは生活が成り立ちません。

◆◆
今回の送迎サービス事業を通して「知恵を出し合い、みんなで支えることで不便でも生きていけると分かった」と考えています。

◆◆
ご寄付いただいた方、送迎サービスを利用しUNEの活動を支援していただいた方々に感謝申し上げます。これから大勢の皆さんのご支援ご協力をお願いします。

赤い羽根情報



不自由な環境下 心と体どう守る

避難所を中心に

元日の激しい揺れが、新潟県を含め北陸地方を襲った能登半島地震。こうした大災害では、身を寄せた避難所で命を落とす災害関連死が常々、問題視されます。避難所や、自宅だとしても不自由な被災下で、心と体をどう守るのか。中越防災安全推進機構の野村卓也さんに聞きました。



熊本市の避難所の様子 (2016年) ※写真は全て野村さん提供



(株)野村防災
(公社)中越防災安全推進機構地域
防災力センター コーディネーター

のむら たくや
野村 卓也さん(39歳)

教えてくれた人

長岡市出身。2013(平成25)年の長岡市豪雨をきっかけに、兄である野村祐太氏が代表取締役を勤める(株)野村防災に入社。2016年の熊本地震、糸魚川市大規模火災、2017年の九州北部豪雨、2024(令和6)年の能登半島地震ほか全国各地の災害現場支援や、防災教育の出前講座などを行う。

人とのつながりが大切 お茶飲み場が心と体の安全を守る

災害発生後、さまざまな事情から避難所で過ごさなければならぬことがあります。数日から数カ月間、学校の体育館や公民館で知らない人たちと集団生活をするなんて、ほとんど経験ないでしょう。何をどうしたらいいのか、情報もなく、不安でいっぱいです。プライバシーを守ることは難しく、寝不足も加わって疲労困憊こんぱいしてしまいくらいです。

自分1人が過ごせるスペース※はありますが、一番つらいのは、それ以外の居場所がないことです。睡眠も、食事も全て自分のスペース内で行い、動くことが限られ、エコノミークラス症候群につながりやすい状態になります。

point

居場所を
作る

支援者が現地に入って早い段階で行うのが、避難所内に自分のスペース以外に立ち寄れる居場所、「お茶飲み場」をつくることです。立ち上がって、歩いて行き集まっておしゃべりしましょう。みんな不安や悲しみ、いらだちなどさまざまな感情を抱えています。お互いに話を聞いて、ねぎらい、地域の復旧や支援の様子を情報交換することで心が落ち着きます。そばに掲示板を置くのもいいでしょう。補助金や仮設住宅の申請のやり方などを確認し合うこともできます。

全国各地からボランティアや医師らも訪れます。一人一人の問診もします



熊本市の避難所のお茶会(2016年)

※過去の事例では量1量程度の場合もあった。感染症対策のため基準が見直され、新潟県地域防災計画では避難者1人当たり3~4㎡を目安としている。

が、みんなが集まっている場で「〇〇さんが咳をして具合が悪そうだ」など

と聞けるケースもあり、効率よく状況
を把握できます。

自分ができていることをする

新しいコミュニティで役割分担

point
役割分担を
しよう

避難所では何をしたらいいか分から
ないので、お客さまのように何でもし



家屋の倒壊が相次いだ能登半島地震（2024年）
自宅に戻れない、ライフラインが止
まっているなど、避難所生活を余儀な
くされるケースは少なくない。

てもらいがちです。ご飯は炊き出しに
並んで食べるだけ。物資の配給を待つ
だけ。共有スペースやトイレ掃除は誰
かがしてくれる。自分は横になって過
ごすだけの日々慣れてしまい、避難
所を出ると普段の生活に戻るのが難し
くなる人もいます。どうやってご飯の
支度をしていかなど、忘れてしまっ
たのです。

能登半島地震では体育館が寒く、ス
トープの「灯油当番」を決めていまし
た。ゴミ捨てに行くなど、自分ができ
ることを見つけて、積極的に協力した
いものです。体を動かすことは、筋力



避難所の「灯油当番」の札

の衰え予防になり、一方でみんなの役
に立つことは生きる意欲にもつながり
ます。支援する側の人員や体力にも限
りがあります。支援される側、する側
という垣根はなくし、みんなで力を合
わせて、居心地のよい場所を作ろうと
いう心がけが大切です。

う。普段の地域のつながりや活動経験
が力を発揮します。設置場所や利用
ルールは高齢の役員だけでなく、子育
て中のママなど若い世代の声も取り入
れましょう。お茶飲み場だけでなく、
食事と寝るスペースを分け、子どもた
ちが騒いでもいいスペースを作るなど
の工夫もできると、お互いに過ごしや
すくなります。

自分に必要なものは持参 困りごとを相談しやすい場に

point
自分にあった
備えを

避難所は決して快適な空間ではあり
ません。配給される毛布などの物資、
食べ物には限りがあります。自分の体
調に合わせ、必要なものや食べられ
るものは自分で備えておいた方が安心で
す。せっかくなので避難所に「お薬手帳」を
持っていったら、遠慮しているのか、
恥ずかしいのか、見せない人もいま
す。医師や看護師が巡回してきた時に
は、持病や飲んでる薬、困っている
ことを本人や家族が隠さずに早めに伝
えるなど、相談しやすい雰囲気づくり
も大切です。



避難所の中で防災グッズをつくる様子

能登半島地震 2カ月

新潟西区 VC



西区VCが規模縮小される前のボランティア向けオリエンテーション＝2月4日、新潟市西区

規模縮小「土日型」に移行

支援ニーズ 落ち着く 担当者「遠慮せず相談を」

元日に発生した能登半島地震から2カ月。新潟県内も激しい揺れに襲われ、各地に甚大な被害をもたらしました。中でも新潟市西区では液状化現象による被害が集中、被災した一帯では今も家屋や電柱が傾くなど、被害の爪痕が生々しいままです。新潟市西区社会福祉協議会は災害ボランティアセンター（VC）を設置、

災害ボランティアの受け入れと送り出しを進め、被災住民を支援してきました。その後、住民からの支援要請が落ち着いたこともあり、2月17日、毎日開いていた災害VCを「土日開設」へ切り替えました。規模も縮小しましたが被災者のニーズには応える構えを維持、被災者の拠り所であり続けようとしています。

から「土日型災害VC」として活動を始めました。活動規模も縮小、土日に県内から募集する個人参加の災害ボランティアはそれまでの1日50人から10人に減りました。

規模縮小に踏み切ったのは住民からの支援ニーズが落ち着いてきたためです。縮小以前の災害VCは広い屋内コートで災害ボランティアを受け入れ、支援を要請した被災者の元へ送り出しました。こうした活動を続けたところ、1月下旬から支援ニーズが落ち着き始めました。

被災住民からの支援ニーズについて、西区社協職員は「『もっと大変な人もいるので、うちは後でいい』と遠慮がちな住民もいて、潜在的なニーズがないとは

言い切れない。支援要請は遠慮せず、相談してほしい」と話しています。

寒空の元、尊い作業を続けた災害ボランティアを慰労しようと、炊き出しやキッチンカー、足もみなどのボランティアも相次ぎ、VCを訪れました。

一方、今回の災害VCの活動で目を引いたのは「ソーシャルワーク班」です。区社協に配置されているCSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）が地元NPO法人代表らと協力して被災者訪問を実施、被災者ケアに努めました。

こうした中、高齢女性は被災し1人暮らしで心細かったらしく、訪れたSW班を見るなり泣き出し「ボランティアから家の周りをきれいにしてもらった」と感謝の言葉を繰り返し述べたそうです。担当者は「ボランティアやVCの活動で被災者が少しずつ暮らしを取り戻せる」との思いを強くしたと報告しています。

震災発生後、災害VCが1月3日に設置されてから2月18日まで、荒天やVC移転などによる休みを除いた1カ月あまりの間、延べ約1740人のボランティアが約280件のニーズに対応。宅地内や側溝の土砂の除去を中心に、壊れた家財道具運び出しなどにも人海戦術を展開しました。

災害VCは西区内の「みどり」と森の運動公園」内の屋内コートで運営されてきました。2月中旬、同じ運動公園内の施設の一室に移転。規模を縮小し2月17日

寒風下 泥との格闘黙々と

写真特集



▲側溝を埋めた土砂の取り除き＝2月1日、新潟市西区善久

▶液状化で庭先に堆積した土砂を除去するボランティア
2月4日、新潟市西区善久



●アパート駐車場の側溝から土砂を取り除く＝
2月1日、新潟市西区善久



ボランティアに尽きぬ感謝

新潟市
西区



▶車庫の傾きから地面のゆがみが見て取れる
2月1日、新潟市西区善久



▲電柱が大きく傾いたままの被災地＝2月1日、新潟市西区善久

▼規模縮小し活動を始めた「土日型VC」＝2月17日、みどりと森の運動公園



▲炊き出しボランティアが駆け付け、昼休みの災害ボランティアたちに熱々の汁をふるまう＝2月4日、新潟市西区災害VC

福祉にいがた
6年度表紙絵

久保田さん(聖)担当
永越環さんお疲れ様

新潟県社会福祉協議会が

発行する「福祉にいがた」
「福祉にいがた オアシス
21」合併号の表紙絵の作者
は永越環さん(上越市)が
3月号で終了。令和6年度
の4月号から久保田学さん
(聖籠町) Ⅱ写真Ⅱに代わ
ります。

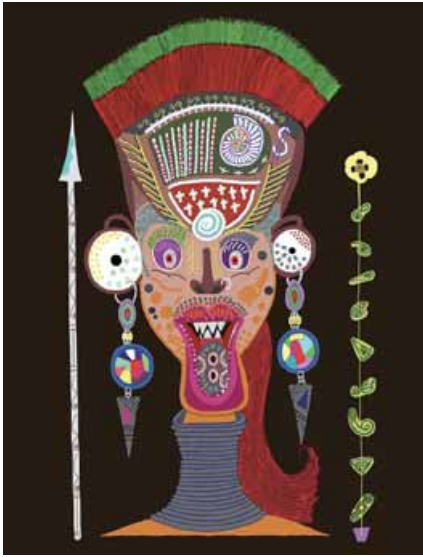


久保田さ
んは40代前
半。統合失
調症で、精
神障害2級

です。

久保田さんが描く絵は色
鮮やかなのが特徴です。さ
らに、絵のモチーフは趣味
のギターや音楽関係、花や
鳥などの動物、海外の風景
などさまざままで、その組み
合わせ方や描き方はとても
ユニークです。どの絵も「心
の中に浮かんだ空想」だそ
うで「空想画」と呼ぶべき
でしょうか。

作品を眺めていると、久
保田さんの心の中を旅する



作品《投 影》

【作者一言】

下唇に大きな血を入れているのが特徴の、アフリカの少数民族ムルシ族の女性をイメージして描きました。
素朴で未開の地が多いアフリカに住んだら、自分はどうか変わるのか?自分の「内面の変化」を想像した作品に「投影」と名付けました。

ような、不思議な感覚を楽しめそうです。

表紙絵に使う絵は描き始めた中から、久保田さんが選びました。

久保田さんは作品を、パソコンのアプリと専用ペンで描いています。

久保田さんは小さい頃から絵を描くのが好きで、得意でもあったそうです。

描画に使うパソコンなどは今から7年前、上越市に単身赴任中の父親からプレゼントされました。

「父は何も言わなかったけど『好きな絵を描いて頑張れ』だろうと受け止め、作品を描き始めました」

残念なことに、その2年後、父親は単身赴任先で病気のため急死。描画道具は父からの最後の贈り物となっていました。

現在は描画や趣味のエレキギターを続ける一方、母に励まされ、母をいたわりながら暮らしています。

「福祉にいがた」への表紙絵掲載について「作品を

いろんな角度から見てもらい、皆さんから何を感じてもらえるのか、興味があり楽しみ」と話しました。

一方、永越環さんの山岳画は「とてもきれい」「雄大な感じ」と好評でした。ありがとうございました。今後もお元気で過ごされ、美しい山岳画を再び、見せてもらえると期待します。

福祉の店
パレット情報

パレット新潟店営業日

2024年		3月						
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日



編集後記

能登半島地震により多数の住宅などが被害を受けた新潟市西区。被災者支援のため、西区社協が設置した災害ボランティアセンター(VC)の運営に携わったスタッフの緊張感はどうだったか。運営スタッフは社協職員だけでなく、防災士会や青年会議所、赤十字奉仕団が連日、加わり支えたという。
ある夕方のミーティングで、1人の社協職員がボランティアからの言葉を「共有したい」と報告した。
「私たちボランティアは活動先でたくさん、ありがとうと言われました。でも、私たちが安心して活動できたのはボランティアセンターの皆さんがいたからです。本当にありがとうございます。報告を聞くスタッフも泣いていた。
現場の責任感や重圧感、高揚感が伝わってくる。このエピソードを耳にして「福祉にいがた」の読者と「共有したい」と思った。(佐)